

電子・電機・産業機械等業種の進捗状況の概要(2015年度実績)

目標設定について (継続論点)			昨年度の 取組実績について (継続論点)			低炭素社会実行計画の柱に沿った調査票の章立て (詳細内容はフォローアップ調査票を参照)					目標設定について (継続論点)		
	目標指標	基準年度 ／BAU	2020年目標	2015年度実績	進捗率	想定比	2016年度 の見通し	CO ₂ 排出量 2015年度実 績 (万t-CO ₂)	2030年目標 策定状況	低炭素製品・ サービス等による他部門での 貢献	海外での 削減貢献	革新的技術 の開発・導入	策定目標の 見直し
電機・電子温暖化対策連絡会	エネルギー原単位+	2012年度	▲7.73%	▲11.06%	143%	372%	○	1340.5	エネルギー原単位 年平均▲1%改善 2012年度比▲16.55%	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	リストアップ	-
日本ベアリング工業会	CO ₂ 原単位++	1997年度	▲23%**	▲24.3%**	106%	90%	○	78.6	CO ₂ 原単位 1997年度比▲28%以上	リストアップ	リストアップ ・ 定量化	リストアップ	-
日本産業機械工業会	エネルギー原単位	2008～2012 年度5カ年平均 (暫定目標)	▲8%*	▲15.9%*	200%*	-	-	62.7	CO ₂ 排出量 2013年度比▲6.5%	リストアップ	-	-	-
日本建設機械工業会	エネルギー原単位 +++	2008～2012 年度5カ年平均	▲8%	▲26.9%	336%	-	-	40.2	エネルギー原単位 2013年度比▲17%	リストアップ ・ 定量化	-	-	-
日本工作機械工業会	エネルギー原単位	2008～2012 年度5カ年平均	▲7.73%	▲19.9%	259%	671%	○	35.3	エネルギー原単位 2008～2012年度5カ年平均 ▲12.2%(年平均▲0.5%)	リストアップ ・ 定量化	-	リストアップ ・ 定量化	-

(注1)2015年度実績及び2016年度の見通しについて、基準年度比での削減目標を掲げた業種は基準年度比の削減率を、BAUからの削減目標を掲げた業種はBAUからの削減量をそれぞれ記載。

* 日本産業機械工業会は調整中の基準年度(2008～2012年度5カ年平均)に基づき算定。

(注2)「進捗率」は、目標水準と比較した2015年度実績の比率。【進捗率＝(基準年度の実績水準－当年度の実績水準)／(基準年度の実績水準－2020年度の目標水準)×100(%)】

(注3)「想定比」は、2015年度について予め想定した水準と比較した実績値の比率。【想定比＝(基準年度の実績水準－当年度の実績水準)／(基準年度の実績水準－当年度の想定した水準)×100(%)】

(注4)「目標の引き上げ」は、低炭素社会実行計画においてこれまで目標を変更した年度及びその水準。

(注5)電力のクレジット等調整後排出係数(受電端)と各業界のクレジット量等の償却量・売却量に基づいて算定。

** 日本ベアリング工業会は電力排出係数0.305kg-CO₂/kWhに基づき算定。

(注6)着色している業種は、2015年度実績において進捗率が100%を超過している業種。ただし、各業種とも、最終的には2020年実績で目標を達成することとしている。

(注7)エネルギー原単位目標を掲げる各団体の生産活動量は、以下の団体を除き「生産額」を採用。

+ 電機・電子温暖化対策連絡会は「エネルギー原単位の改善率」を指標としている。 ++ 日本ベアリング工業会は「付加価値生産高」を採用。 +++ 日本建設機械工業会は「売上高」を採用。

(注8)低炭素製品・サービス等による他部門での貢献は、リストアップ有(定量化含む)、－(検討中)と表記

(注9)海外での削減貢献は、リストアップ有(定量化含む)、－(検討中)と表記

(注10)革新的技術の開発・導入は、リストアップ有(定量化含む)、－(検討中)と表記